

ならた

編集・発行

成田市教育委員会 / 〒286-8585 花崎町760番地 ☎22-1111大代表



「わたしの主張」わたしたちのメッセージ
 学校発 わたしたちのメッセージ
 今回、豆記者のみなさんに「わたしの主張」をテーマに素敵な学校づくりについて紹介しています。学校生活の中で、誰もが気持ちよく過ごすために行っている各校の取り組みについて紹介します。

あたたかな行事をみんなの手で

東小学校は、全校児童数四十四人の小規模な学校です。行事は全校で行うことが多く、校庭にある「遠山桜」の下でお花見給食をしたり、みんなで瀬干狩りに行ったりととても楽しかったです。



桜の下でお花見給食

素敵な学校づくりについて

先生方を含めて全校がまるで家族のようです。たてわり班での活動が中心になるため、わたしたち六年生にとって、とてもやりがいのある毎日です。

わたしは、東小がいつまでも素敵な学校であり続けることを願っています。そのためにもみんなで支え合い、小さな学校だからこそできる行事をたくさん考えていきたいです。

東小 葦岸 さゆり

スローガンとともに

ぼくたちの向台小学校には、「花いっぱい、笑顔いっぱい、歌声いっぱい」「こころ血槽があまりま



今年のスローガンが決定！

す。ぼくたち児童会では、この目標を達成するよう音楽委員会に努力をしています。環境委員会による花の世話や、児童会での歌声発表などはその例です。

児童会では、各クラスの意見をもちに今年のスローガンを「いつまでも、笑顔が絶えない、向台」に決定しました。今、教室には笑顔がたくさんあります。これからも今以上に、みんなが楽しく

笑顔で過ごせるように児童会のリーダーとしてがんばりたいです。
 向台小 小林 陽介



隅まできれいに

豊住小学校は自然がいっぱいの学校です。よくタヌキやウサギを見かけます。全校で九十七人の少ない人数ですが、みんな明るく元気に学校生活を送っています。

ぼくたち高学年は、みんなが気持ちよく学校生活を送ることができるよう、草取りをしたり、伐採した木の枝を運んだりして学校をきれいにしています。

年一回、地区清掃があります。通学路や自分の住んでいる地区を隅から隅まできれいにする活動です。

これから、学校や自分たちの地域をきれいにし、気持ちよく生活できるようになりたいです。

豊住小 日暮 慎之介

みんなのゴミもピカピカに

全校で地区別のゴミゼロ運動に取り組みました。地区別に行うのは初めてのことで、それぞれの地区長が会議をしながら準備を進めてきました。

久しぶりに晴れて暑くなった五月二十四日、自分たちの地区の公園や共同利用施設を清掃しました。役員の方々も手伝ってくれ、とてもきれいになりました。しかし、通学路にゴミを捨てたり、弁当の容器などがたくさん捨てられて汚かったです。ほくは平気で道路にゴミを捨てることなんてできません。



地区のゴミゼロ運動に参加

花があり、きれいで素敵なこの学校。一人一鉢運動のこの花のよつに、かけがえのない一人ひとりの心にも美しい花を咲かせていきたいと願っています。

それを表現するための一つが、たわり活動だと思っています。年齢の違い、立場の違いを考慮して行動する思いやりの心、目標に向けて助け合う協力の心。そして支えてくれている人への感謝の心をみんなが育てていきたいと思っています。



この花のように

心の花

つってほしいと思いました。
三塚塚小 松原 弘樹

素敵な加良部小になるために

わたしたちの加良部小は、昨年度の三学期の工事で体育館の入り口や通路にスロープができ、一階のトイレは車いすでも入れるようになりました。

しかし、一緒に遊んでいてときどき困ることがあります。たとえ

います。
最高学年であるわたしは、これから何ができるかを考え、生活していきます。みんなの心の花が満開になるように。

玉造小 高師 麻衣



わたしたちにできることから

夢と希望と感動のある学校へ

わたしの学校では今、ボランティア

ば、中庭に出るところが段差になっていて、車いすだと一人で降りることができません。普段気がつかず、すれ過ぎてしまいましたが、車いすを利用して人にとっては、大変な問題だと思いました。周りにいるわたしたちで何とかできないでしょうか。みんなが周囲のことを考えて行動できれば、加良部小はもっともと笑顔があふれる学校になれると思います。

加良部小 鈴木 佳澄

イア委員会を中心にカンボジアへの支援活動を行っています。三月に現地の生活状況を知ったのをきっかけにして、活動が盛んになりました。たとえば、もつ着られなくなった服、履けなくなった靴、石けんなど生活の中で必要なものを全校生徒が持ち寄り、カンボジアに送っています。

他の委員会も学校のため、地域のために盛んに活動しています。六月には、全校生徒が地区ごとに分かれ、リサイクル活動を行いました。

これからも、地域の人と協力して夢と希望と感動のある学校にしていきたいです。

吾妻中 内田 咲子



全校生徒が持ち寄った生活用品



みんな仲良しペア

上級生と下級生が一緒にあって

吾妻小では、たてわり活動というものがありません。たてわり活動では、高学年と低学年でペアを組みます。ほくは一年生とペアを組むことになり、休み時間に遊んだり、半日を使って近くの公園に遠足に行ったりしました。

ほくは、今まで下級生と話をしたことや、交流をしたことがあまりありませんでした。でも、たてわり活動を通して一年生と遊ぶことができたので、たてわり活動は良いと思います。

吾妻小を素敵な学校にするためには、これから下級生と交流を

深めていきたいです。

吾妻小 渡辺 勇

小さな一歩の積み重ねで



団結して一つの目標に

付属小学校を卒業した先輩の岩館選手が、巨人軍に入団しました。これは、ほくたちのほりです。

ほくたちの学校では、朝と放課後に体力作りの運動をしています。付属小の児童数は多くはないので、先生が一人ひとりをよく見てくれます。

陸上競技大会では、「今年こそ全員郡大会に」という目標をもち、毎日の練習に耐えぬきました。結果は、全員が郡大会とはなりませんでしたが、みんな一つの目標に向かって団結する大切さを学びました。「このよつな小をな

歩の積み重ねが、学校をより良くしていくのだと思います。

成田高校付属小 三立 大

みんなで意見をだし合って

豊住中では、年に一度、生徒総会が行なわれます。生徒総会とは、生徒全員が学校生活でのさまざまな取り組みの内容について協議し、決議する行事です。

五月二十日に行われた今回の生徒総会では、全校生徒の学校の規則、部活動、委員会などの取り組みの原点となる内容を見直し、より良いものにしたいたいという思いから、すばらしい話し合いができました。

これからも、生徒一人ひとりが全体を考えた行動をとり、さらに素敵な学校にしていきたいと思えます。

豊住中 鈴木 康晴



すばらしい意見が次々と

平成小のリーダーとして



ボランティアで昇降口掃除

平成小学校は開校からノーチャームです。一年生から六年生まできちんと活動や生活をしていくことができます。みんなの中に時間を守ることができていますからです。

また、気持ちのいいあいさつができます。友達同士、先生、お客様とあいさつを通し、心のキャッチボールをしているのだとほくは思っています。



ほくたちが手本

中郷小 澤田 耕平

がんばっていききたいと思えます。

平成小 佐々木 光司

日本一の学校へ

中郷小学校の校長先生は、朝会るときに、「日本一の学校にしよう」といつもおっしゃいます。そのためにがんばることは三つです。

- 一 人の話をよく聞く。
- 二 あいさつをしつかりする。
- 三 汗を流して働く。

どれも簡単に見えるし、あたり前のことですが、毎日続けることは難しいです。それでもほくはこの目標に向かってがんばろうと思えました。ほくたちが六年生が中郷小の手本としてがんばれば、必ず下級生がついてきます。「日本一の学校」へ少しでも近づいていきたいです。

親子でガッツ！

本城小では、赤白青黄のまきの子だまし、優勝めざしてかっとなげのテーマのもと、五月二十九日に運動会が行われました。四色対抗で競う運動会、競技の中に、大玉送りという全校親子競技があります。四色の玉がはっきりと空に浮き、歓声の拍手や声で運動場がいっぱいになります。



大玉をかつとばせ！

このように、本城小では親子が力を合わせ、学校と地域が一緒になって、いろいろなことに取り組んでいきます。

これからも、笑顔いっぱい、元気いっぱい、みんなが仲良く運動や勉強に取り組める学校にしていきたいです。

本城小 増田 恵子

地域とともに

わたしは、玉造中の二年生で生徒会副会長をしています。今年の五月三十日に行われた美化運動についてお話をしたいと思います。活動自体は四十分位で短かったので、先輩も後輩も一生懸命ゴミ拾いをしていました。その後、生徒会と青少年健全育成協議会で話し合いをし

ました。

わたしは、今回の活動を通して学校をより良くするために、地域の人たちとの密接な関わりが大切だと思いました。

だから、地域が一体となった活動に多くの生徒や地域の人たちの参加を望んでいます。このような活動によって学校や地域はより良いものになると思います。

玉造中 金頼 知徳



先輩と後輩と一緒に

変えるのはわたしたち

久住中では毎年五月に生徒総会を開きます。全校生徒がその年の行事や予算、校則などについて話

し合う集会です。

わたしは副議長として総会の運営に関わりました。事前に各クラスで話し合った意見や質問を生徒会本部が中心となってまとめ、全体で討議しました。

わたしたちの久住中をさらに素敵な学校にするためには、この総会で確認されたことを全員が意識して生活することが大切です。また、わたし自身も日ごろから問題意識をもち、改善点などを積極的に発言して、こうとあらためて決意しました。

久住中 岩館 裕子



素敵な学校にするのはわたしたち

あとがき

豆記者のみなさんの記事や写真から、自分たちの学校をみんなの手でもっとよくしていくという強い意気込みが伝わってきました。誰もが気持ちよく過ごすにはどうしたらいいか、このジュニア広報を参考に、みなさんも一緒に考えてみてください。